

小学校の余裕教室の活用による県立特別支援学校分校開設に向けた取組(愛媛県四国中央市)

取組概要

四国中央市立三島小学校の余裕教室・空き教室を活用して、愛媛県立新居浜特別支援学校分校を平成33年4月に開設するため、平成30年5月に「愛媛県立新居浜特別支援学校分校の開設に係る基本協定」を愛媛県と四国中央市の間で締結した。

取組の効果

県立新居浜特別支援学校へ通学する児童生徒や保護者の通学負担の軽減、県立新居浜特別支援学校本校の児童生徒増加に伴う教室不足の狭隘化対策、インクルーシブ教育システム構築による特別支援教育の推進、障がい者理解の推進、少子化による余裕教室・空き教室の有効活用などの効果が見込まれる。

創意・工夫した点

市立小学校の余裕教室を活用した特別支援学校分校の開設は全国では見受けられる事例ではあるが、県内では初めての取組となり、同一敷地内に市立と県立の学校が存在することとなる。

他団体へのアドバイス

特別支援学校に関して、県と市が抱えていた課題の解決に向けて、相互の条件や時期が一致したことで誘致が実現したと考える。

人口 88,634人(H30.1.1現在)

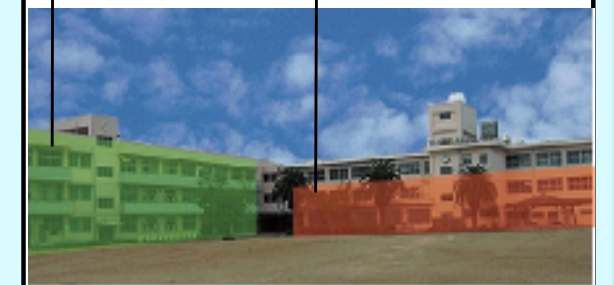
担当 学校教育課



愛媛県新居浜特別支援学校(本校)

(緑色部分)
四国中央市立
三島小学校

(赤色部分)
愛媛県立新居浜
特別支援学校分校



新居浜特別支援学校分校のイメージ